

ウオダス 漁海況速報 No.1426

発行日 平成 17 年 7 月 21 日 <http://www.applenet.jp/aosui/>
 発行 青森県水産総合研究センター TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778
 住所 〒038-2731 青森県西津軽郡鯨ヶ沢町大字赤石字大和田39-5

7月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
					①	2
3	4	5	⑥	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	18	⑨	20	⑲	22	23
24	25	②	27	28	29	30
31						

○今年7月現在の日本海南西沖におけるエチゼンクラゲは、大量出現のみられた2002年、2003年よりも20日以上早く出現しています。

小泊 (7月16~20日) (取りまとめ中)

下前 (7月1~5日)

スルメイカ	一本釣	53隻	10,630kg
クロマグロ(丸)	延縄	2隻	157kg
クロマグロ(ヌキ)	延縄	2隻	110kg
ウスメバル	刺網	20隻	1,705kg
(1,922kg)	一本釣	7隻	217kg
ブリ	一本釣	15隻	184kg

(7月6~10日)

スルメイカ	一本釣	23隻	2,615kg
クロマグロ(丸)	延縄	8隻	177kg
クロマグロ(ヌキ)	延縄	8隻	120kg
ウスメバル	刺網	23隻	2,648kg
(2,734kg)	一本釣	5隻	86kg
ブリ	一本釣	31隻	430kg

(7月11~15日)

スルメイカ	一本釣	77隻	20,380kg
マグロ(丸)	延縄	12隻	475kg
マグロ(ヌキ)	延縄	12隻	849kg
ウスメバル	刺網	35隻	3,821kg
(4,276kg)	一本釣	8隻	455kg
ブリ	一本釣	21隻	175kg

沢辺 (7月16~20日)

タイ	定置網	1隻	95kg
(99 kg)	底建網	2隻	4kg
ワラサ	定置網	1隻	7kg
シッコ	定置網	1隻	880kg
(948 kg)	一本釣	2隻	68kg
マサバ	底建網	1隻	6kg

鯨ヶ沢 (7月16~20日)

タイ	底建網	7隻	26kg
(130 kg)	一本釣	10隻	104kg
フクラゲ	底建網	2隻	15kg
(47 kg)	一本釣	4隻	32kg
クロマグロ(丸)	底建網	11隻	420kg
(452 kg)	刺網	2隻	32kg
クロマグロ(ヌキ)	底建網	1隻	78kg
(93 kg)	刺網	1隻	15kg
メジマグロ	底建網	3隻	38kg
マアジ	底建網	1隻	6kg

大戸瀬 (7月16~20日)

タイ	定置網	29隻	60kg
(213 kg)	底建網	31隻	142kg
	一本釣	2隻	12kg
サクラマス	定置網	1隻	0kg
ブリ	定置網	32隻	337kg
(408 kg)	底建網	3隻	68kg
	一本釣	1隻	3kg
サケ	定置網	1隻	3kg
サバ	定置網	5隻	36kg
(38 kg)	底建網	2隻	2kg

深浦 (7月16~20日)

スルメイカ	一本釣	23隻	6,930kg
タイ	定置網	6隻	241kg
ブリ	定置網	9隻	8,477kg
クロマグロ	定置網	3隻	102kg

三厩 (7月16~20日)

スルメイカ	一本釣	25隻	6,520kg
マグロ	一本釣	6隻	310kg
ウスメバル	一本釣	8隻	167kg
ブリ	一本釣	2隻	7kg
ワラサ	一本釣	1隻	2kg
アブラツノザメ	延縄	2隻	620kg
タイ	延縄	4隻	22kg

平舘 (7月16~20日)

マアジ	550kg
イナダ	2,706kg
タイ	187kg
スルメイカ	400kg
定置網	23隻

佐井 (6月26日~7月20日) (取りまとめ中)

大畑 (7月1~20日) (取りまとめ中)

尻労 (7月11~20日) (取りまとめ中)

白糠 (7月11~20日) (取りまとめ中)

八戸 (7月16~20日) (取りまとめ中)



主要魚種の動き

○ブリ (全漁法・7月16~20日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(5月~)	昨年同期比
鯨ヶ沢	47kg	34%	1,167kg	547%
大戸瀬	408kg	323%	25,569kg	567%
深浦	8,477kg	89%	374,672kg	635%
沢辺	955kg	236%	45,187kg	1343%

○タイ (全漁法・7月16~20日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(4月~)	昨年同期比
鯨ヶ沢	130kg	123%	6,080kg	62%
大戸瀬	213kg	85%	11,486kg	58%
深浦	241kg	32%	33,549kg	177%
沢辺	99kg	194%	6,708kg	107%
(津軽海峡)				
三厩	22kg	12%	1,040kg	77%
(陸奥湾)				
平舘	187kg	105%	5,718kg	42%

○クロマグロ (全漁法・7月16~20日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(5月~)	昨年同期比
下前	1,325kg	-	1,888kg	146%
鯨ヶ沢	583kg	84%	2,732kg	277%
深浦	102kg	1%	66,107kg	316%
沢辺	0kg	0%	1,798kg	191%
(津軽海峡)				
三厩	310kg	-	310kg	-

○スルメイカ (一本釣・7月16~20日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(5月~)	昨年同期比
下前	20,380kg	779%	153,073kg	38%
鯨ヶ沢	0kg	0%	73,718kg	117%
深浦	6,930kg	55%	63,438kg	30%
(津軽海峡)				
三厩	6,520kg	45%	102,540kg	82%

○ウスメバル (全漁法・7月16~20日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(4月~)	昨年同期比
下前	4,276kg	156%	36,688kg	101%
(津軽海峡)				
三厩	167kg	37%	5,670kg	56%

○アブラツノザメ (全漁法・7月16~20日)

(津軽海峡)	今回	前回比	漁期累計(9月~)	昨年同期比
三厩	620kg	453%	186,718kg	69%

沿岸各地の水温

日本海 23℃台
陸奥湾 19～22℃台

今期はすべての地域で昇温し、平均前回差は+2.4度となりました。

昨年と比べると日本海でやや高く、平均昨年差は+0.2度となっています。

平年と比べると日本海側、津軽海峡側及び太平洋側でかなり高め、陸奥湾内でやや高めとなりました。平均平年差は+1.3度とかなり高めです。

(7月16日～20日)
津軽海峡 18～21℃台
太平洋 17～19℃台

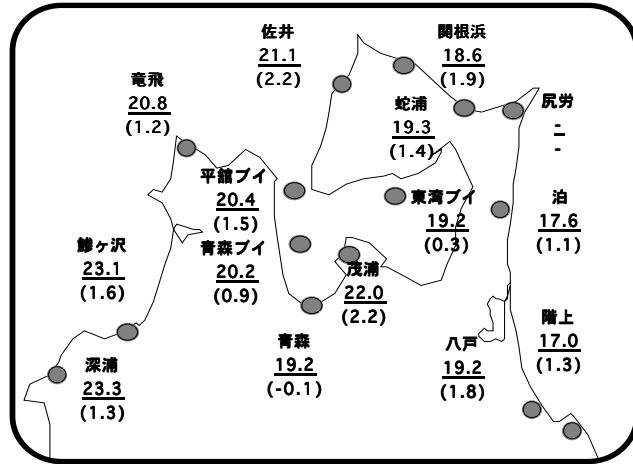


図 定地水温 (7月16～20日) 平均値 (平年差) プイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	23.3	+1.3	+0.6	+0.3
鯉ヶ沢	23.1	+1.6	+1.6	+2.5
竜飛	20.8	+1.2	-0.9	+1.7
佐井	21.1	+2.2	+2.0	+2.5
青森	19.2	-0.1	-0.0	+2.1
蛇浦	19.3	+1.4	-0.5	+0.5
関根浜	18.6	+1.9	+0.7	+1.5
尻屋	-	-	-	-
油	17.6	+1.1	+0.0	+2.5
八戸	19.2	+1.8	-0.4	+4.2
階上	17.0	+1.3	+0.4	+3.3
茂浦	22.0	+2.2	+0.6	+4.6
平館	20.4	+1.5	+0.4	+2.3
青森	20.2	+0.9	+0.0	+2.8
東湾	19.2	+0.3	-1.1	+2.8
平均	20.1	+1.3	+0.2	+2.4

太平洋の海況 (7月14～17日)

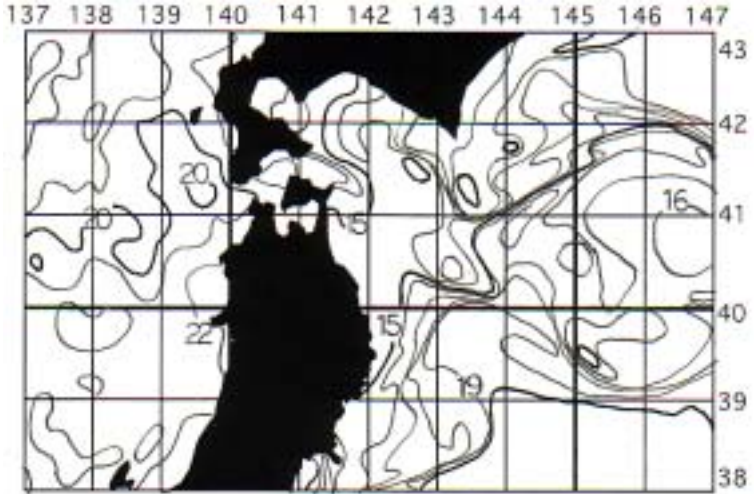
概況；沿岸水温は15～17℃台。

- 太平洋沿岸域の表面水温 15～17℃台で、前回に比べ1度ほど昇温しました。昨年同期より2～3度低い水温となっています。
- 津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 15℃等温線でみると東経142度付近までで、前回と変わっていません。
- 親潮系冷水の南下 15℃等温線でみると北緯40度10分付近までで、張り出しは前回よりやや強くなりました。

日本海の海況 (7月14～17日)

概況；沿岸水温は20～22℃台。

- 日本海沿岸域の表面水温 20～22℃台で、前回と変わっていません。昨年同期と比較すると南部で1度ほど高い水温となっています。



資料：(社) 漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況速報 第31号 7月18日

◎試験船情報

●試験船開運

丸は北緯42度15分、東経173度01分付近でアカイカ資源調査を行っています。

開運丸アカイカ資源調査結果 (太平洋)

操業月日	漁法	操業位置	漁獲尾数(*)	魚体(cm)**	表面水温(℃)	摘要
7月15日	流し網	46-01、170-00	0	-	7.1	サケマス類231尾
7月16日	流し網	47-31、170-01	0	-	8.0	サケマス類184尾
7月17日	流し網	46-24、171-16	0	-	8.8	サケマス類97尾
7月18日	流し網	45-16、173-01	0	-	8.9	シマガツオ171尾
7月19日	流し網	43-45、173-01	0	-	10.3	サンマ466尾
7月20日	流し網	42-15、173-01	20	33～48	12.5	サンマ638尾

* 釣糸1本1時間あたりの漁獲尾数 **主となる大きさ

す。7月15日から20日までの調査結果は上の表のとおりです。

- 試験船東奥丸が行った日本海でのイカ釣操業結果は下の表のとおりです。北海道奥尻沖や江差沖でやや高いスルメイカの分布がみられていました。東奥丸は21日に鯉ヶ沢を出港し、28日までの予定で北海道日本海沖のスルメイカ調査を行います。

操業月日	操業位置	漁獲尾数(*)	魚体(cm)	表面水温(℃)
7月1日	41-03、139-53 (十三沖)	283 (15.7)	14～21 (16)	22.1
7月2日	40-37、137-58 (久六沖)	226 (4.0)	18～27 (22)	19.7
7月3日	42-01、137-30 (奥尻沖)	680 (11.3)	15～24 (21)	19.6
7月4日	42-11、137-51 (奥尻沖)	171 (4.8)	15～23 (19)	17.8
7月9日	43-24、140-16 (積丹沖)	176 (3.7)	15～25 (18)	18.0
7月10日	42-00、140-02 (江差沖)	621 (12.5)	14～24 (18)	17.8
7月11日	40-53、139-56 (大戸瀬沖)	5 (0.2)	15～22	21.5
7月12日	41-08、139-57 (十三沖)	40 (3.3)	14～22 (18)	21.1

* 釣機1台1時間あたりの漁獲尾数 **主となる大きさ

◎エチゼンクラゲ情報

- 7月20日、対馬の西岸数マイル沖で多いところでは15メートル四方に200～300個体のエチゼンクラゲが目撃されています(傘径は20～60センチ)。
 - 7月20日、長崎県対馬市の定置網に500個体以上が入網(傘径は最大で1メートル)。(資料：日本海区水産研究所ホームページ)
- 出現の初期は大量出現のあった2002年(7月31日～8月2日)、2003年(8月上旬)より20日以上早く、少なかった昨年より約1か月早くなっています。